

令和3年度道路設計に関する研修会を開催しました

1 日 時 令和3年8月31日（火）13：15～16：40

2 場 所 福島市「福島県建設センター」2階会議室

3 主催者 あいさつ

当協会佐藤専務理事より、「県から道路に関する最新の情報を、また道路調査設計研究会には道路設計に関するノウハウについて講演していただく。本日の講演は、今後の業務に役立つものと確信している。」とあいさつがありました。

4 参加人数 50名

5 講演（CPD 3ポイント）

道路設計に関する技術力の向上を図るため、道路整備や維持管理に関する測量設計業務を行う上での最新の知識などを修得すること等を目的に開催するものです。

なお、今回は新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策として、例年テーブルを3人掛けとしているところ1人掛けとし、換気や消毒に留意しながら実施しました。



(1) 福島県橋梁補修調査設計要領（案）について 13:20～

福島県土木部道路管理課 技師 白岩 孝朗 氏 14:20

橋梁補修のポイントを、ライフサイクルや施工性を考慮した良い事例や、現況把握が不足し工法が不適切な悪い事例を取り上げながら講演された。



(2) RC床版の耐久性確保に向けた試験施工について 14:30～

福島県土木部道路整備課 主任主査 服部 典之 氏 15:30

試験施工の実施に至った背景となる、塩分環境下の凍害・アルカリシリカ反応による橋梁床版劣化の事例や、高炉セメントを用いた試験施工実施の進め方などを講演された。



(3) 道路調査設計のノウハウについて（道路設計編1） 15:40～

道路調査設計研究会（大日本コンサルタント(株)）岡田 篤 氏 16:40

道路設計における景観設計や維持管理への考慮、積雪寒冷地における合成勾配などの留意点を分かりやすく講演された。

